

# 幻の地下都市「蘇我町」

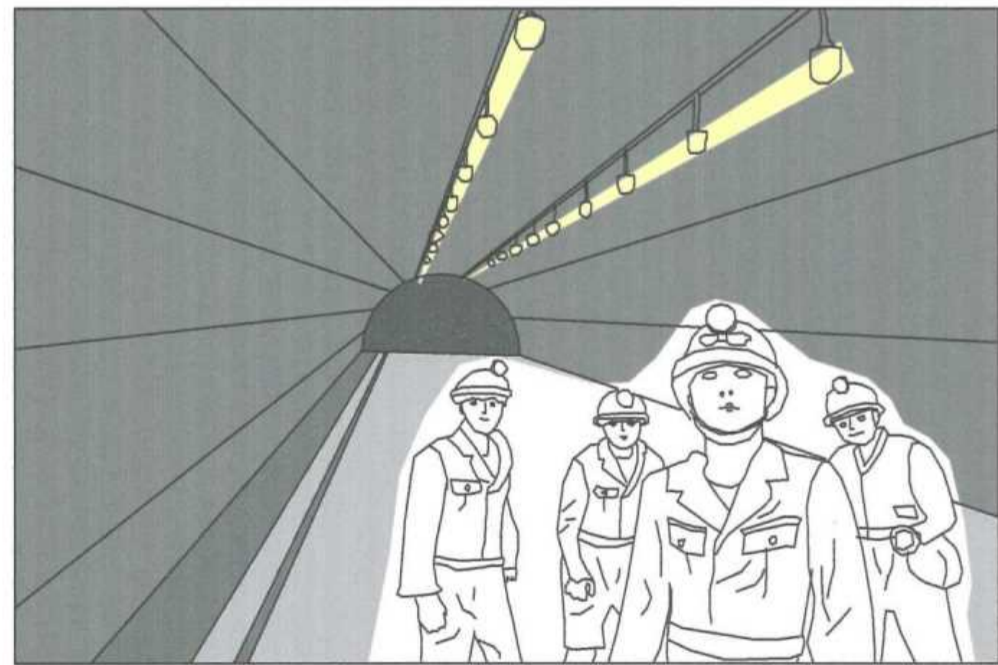
長曾我部隊長 調査書

~~~~~  
それが発見されたのは地質調査でボーリングを行っていた時だ。地下に防空壕のような道が見つかった。そこはとても立派で異様な雰囲気を感じていた。そこで、我々調査隊が派遣されることとなった。場所は、愛媛県松山市桑原の和田さんの買ったばかりの敷地だ。調査を始めて我々はその防空壕らしきものに違和感を感じた。なぜなら、進めど進めど終わりが来ないからだ。それから数十分がたった時、我々は謎の地図や図面を発見した。

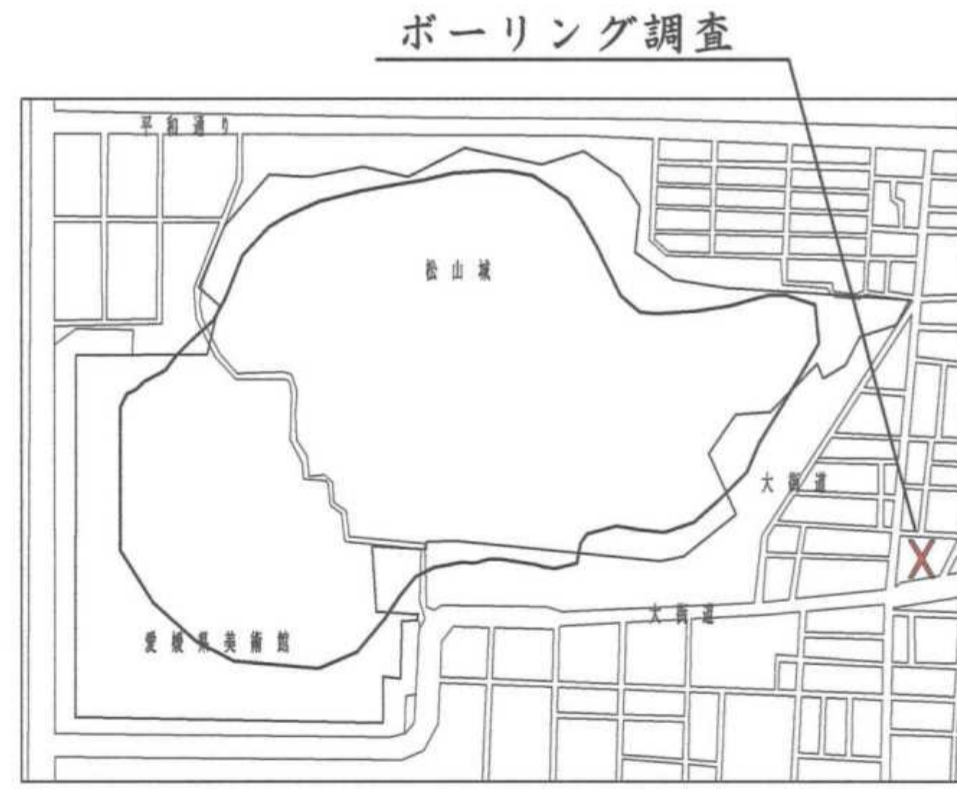
この時点で私は防空壕の可能性は薄いと感じていた。あまりに長く暗い道に我々は緊張と恐怖を感じ始めていたそのとき空間がぱっと広がった。地下なのにも関わらず薄く光が差し込んだ場所そこには、地下都市が広がっていた。目の前の光景に我々は今日本にいることを疑った。また、後で分ったことだが偶然にかここは松山城の真下であった。ここは調査することが腐るほどある。全体における一部ではあるが、その際の調査結果を以下に記す。

~~~~~

真中：今山隊員  
左後：川野副隊長 右後：西谷隊員  
手前：長曾我部隊長



▲ 探索隊員達の様子

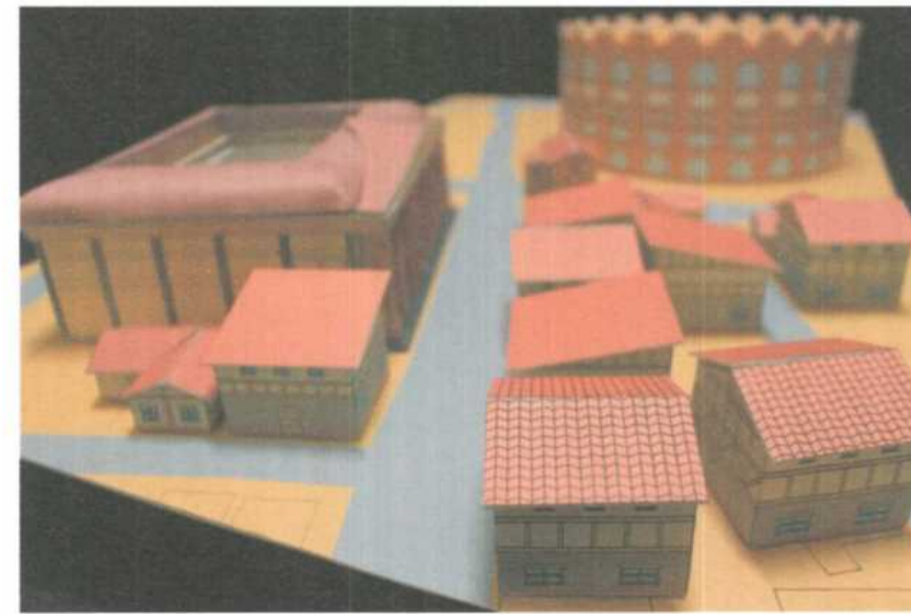


▲ 周辺地図

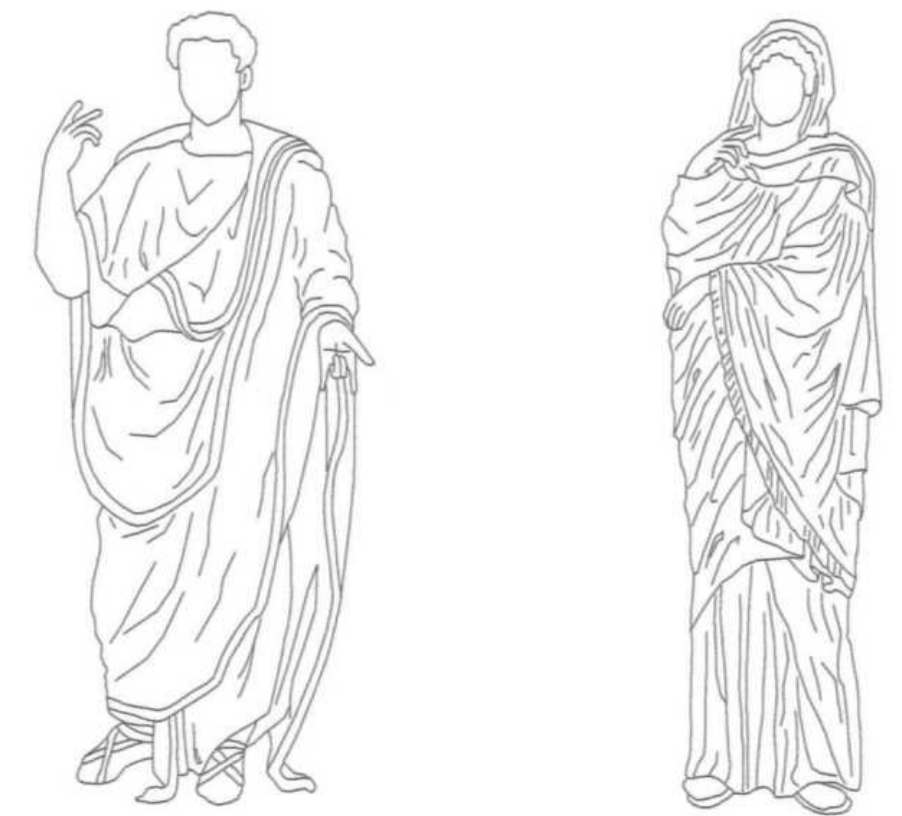
見つけたこの都市の建物は保存するだけでなく、現代でも利用していけるように内装などを変えていく。その際の活用方法などに関しても、以下に記していこうと思う。



▲ 発見した蘇我町の地図



発見した布の切れ端などから当時主流だった服装はこのようなものだったと予想される。また、この都市は一年を通してそこまで気温差がなかったことが予想されるので、一年中この格好だったと思われる。

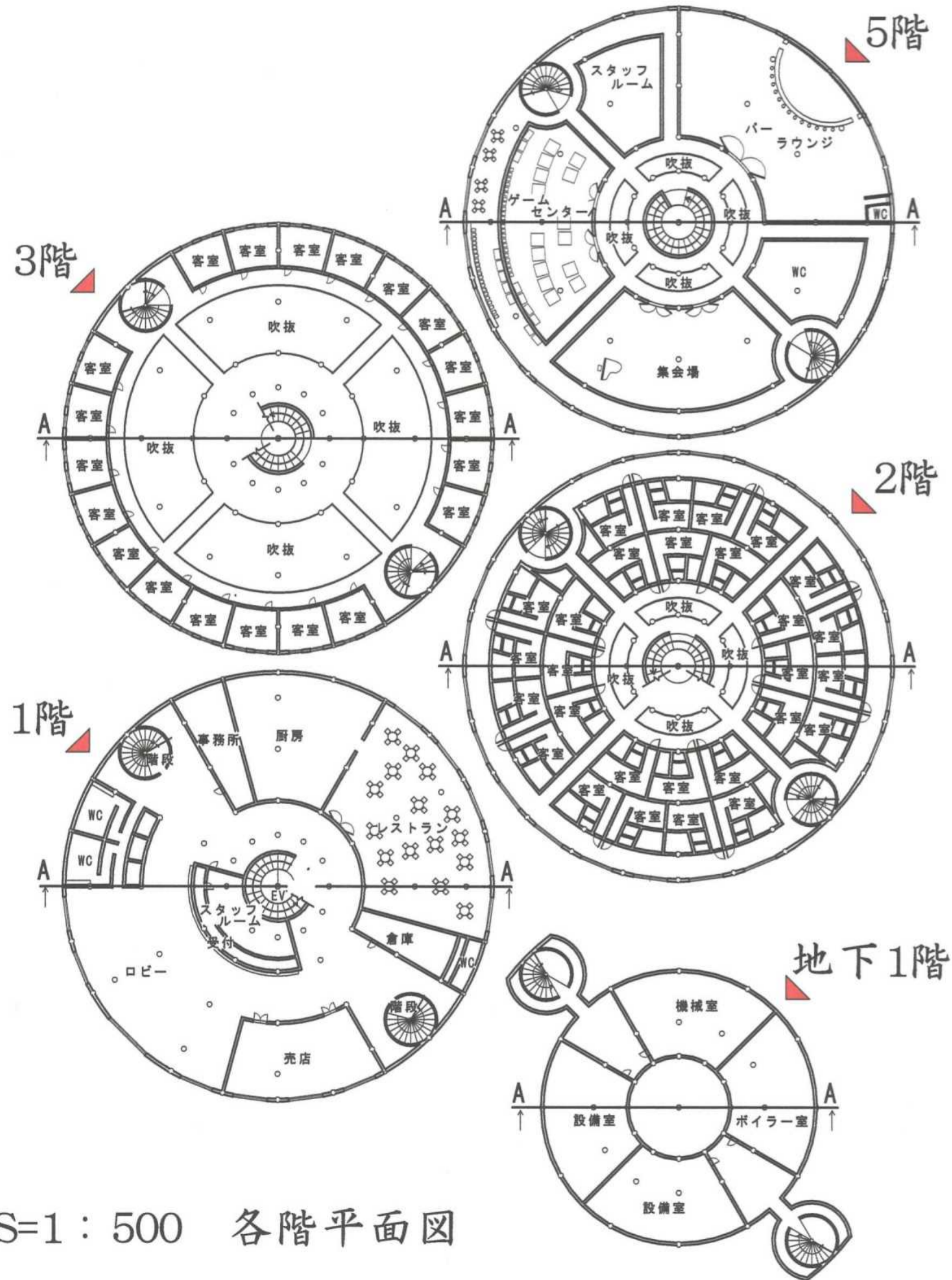


▲ 当時の衣服 スケッチ

絵：副隊長

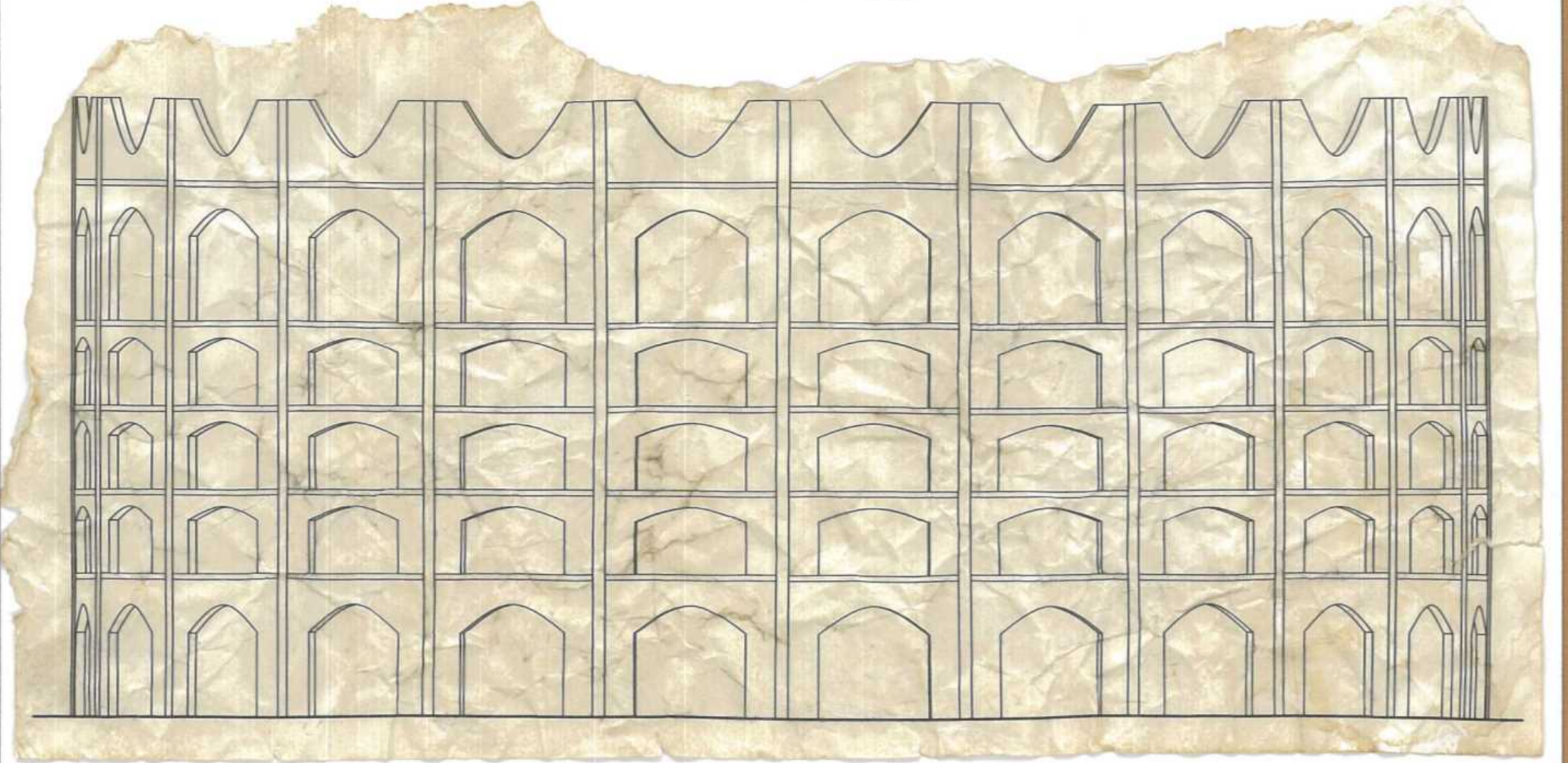
# HOTEL

はるか昔この建物がどう使われていたかは諸説あり、ローマのコロッセオのように闘技場として、集合住宅としてなどと言われている。また、ホテルにするにあたって4階を換気通風階にし、過ごしやすさも一級品である。当時の外観を忠実に再現したホテルコロッセオぜひ泊まってみてはいかがだろうか。



S=1:500 各階平面図

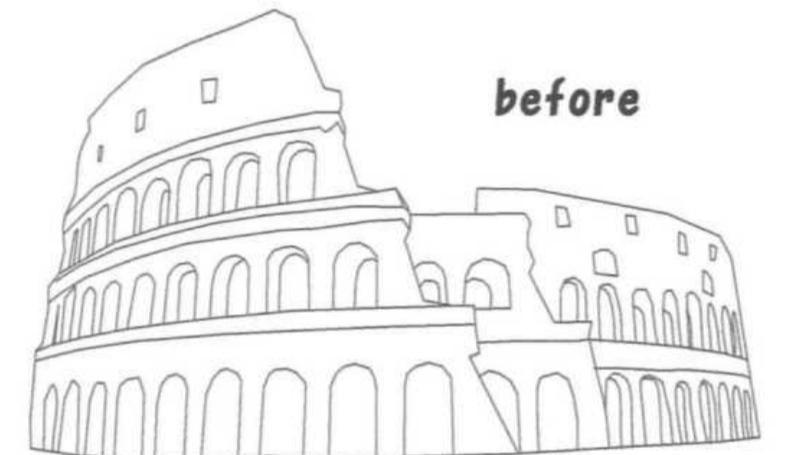
# 「コロッセオ」



発見した当時の図面の欠片

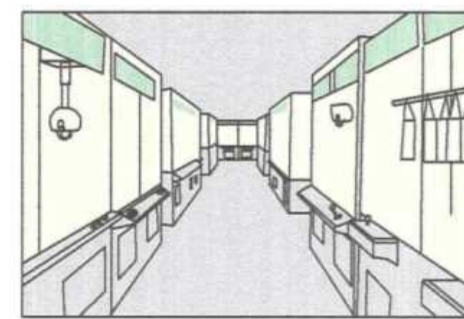
地下1階面積	32.26㎡	敷地面積	5797.79㎡
1階面積	196.25㎡	延べ面積	817.26㎡
2階面積	196.25㎡	建築面積	196.25㎡
3階面積	196.25㎡	建ぺい率	3%
5階面積	196.25㎡	容積率	14%

面積表

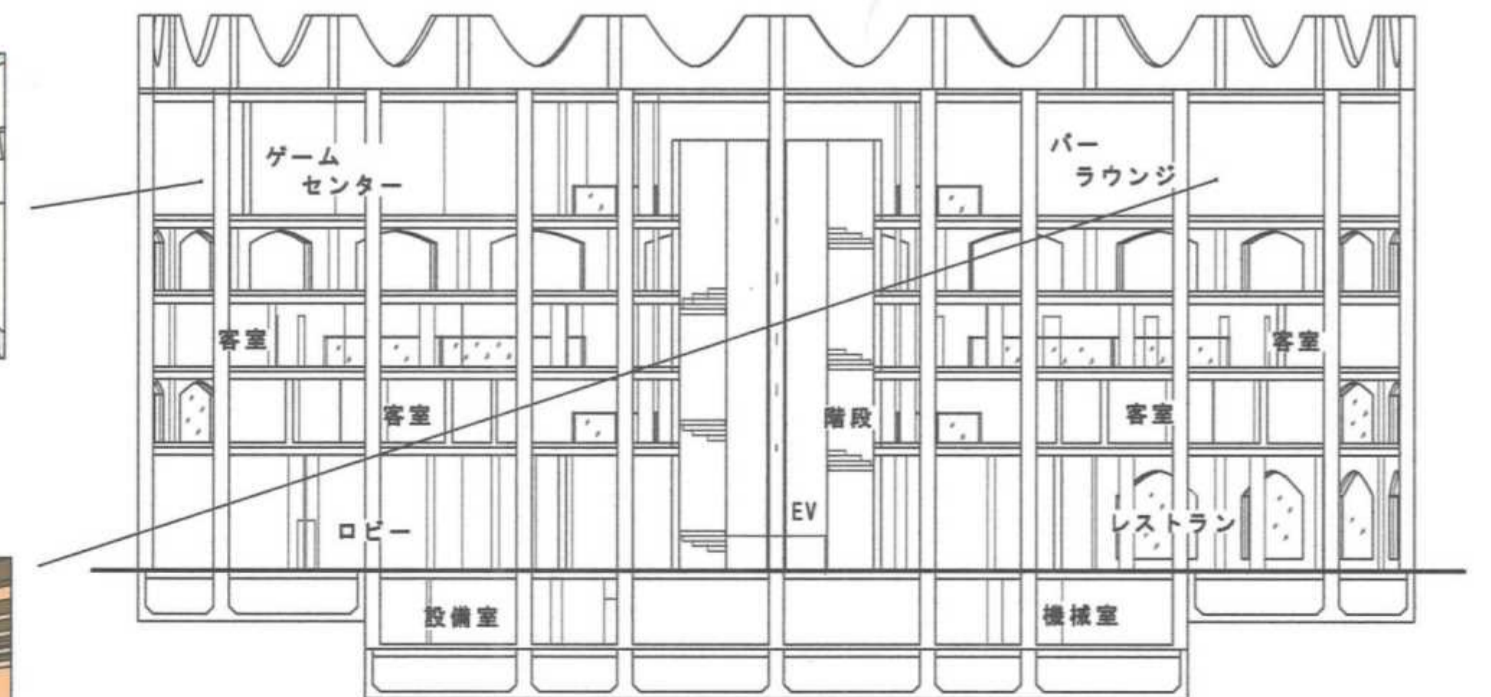
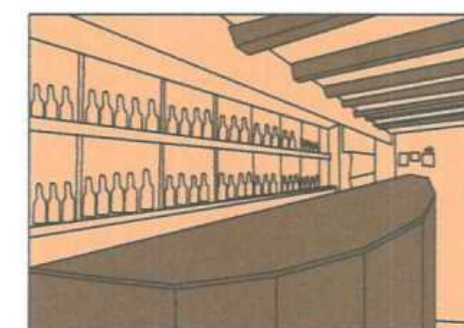


発見時のスケッチ

絵：今山隊員

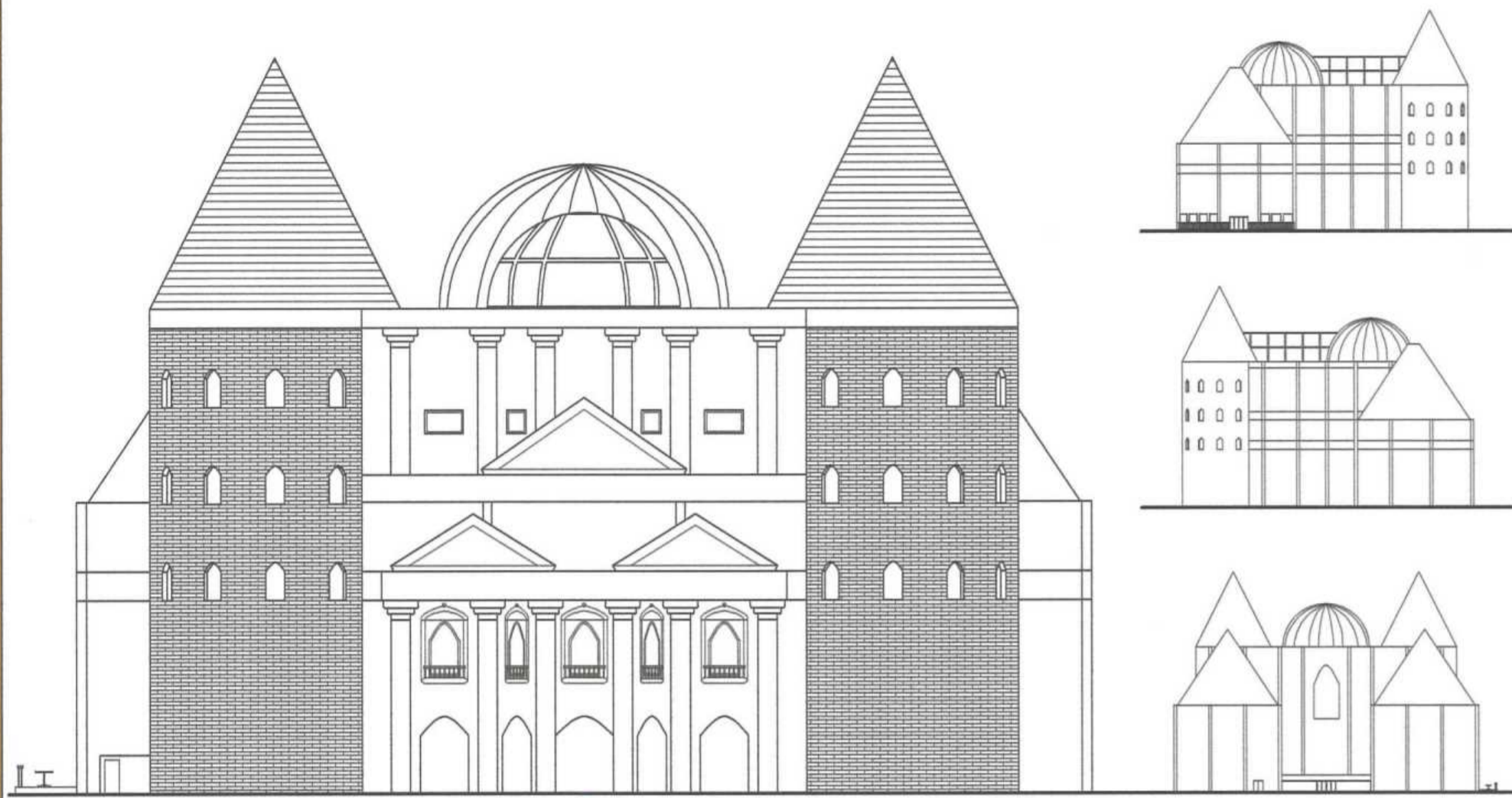


イメージ図



S=1:300 A-A 断面図

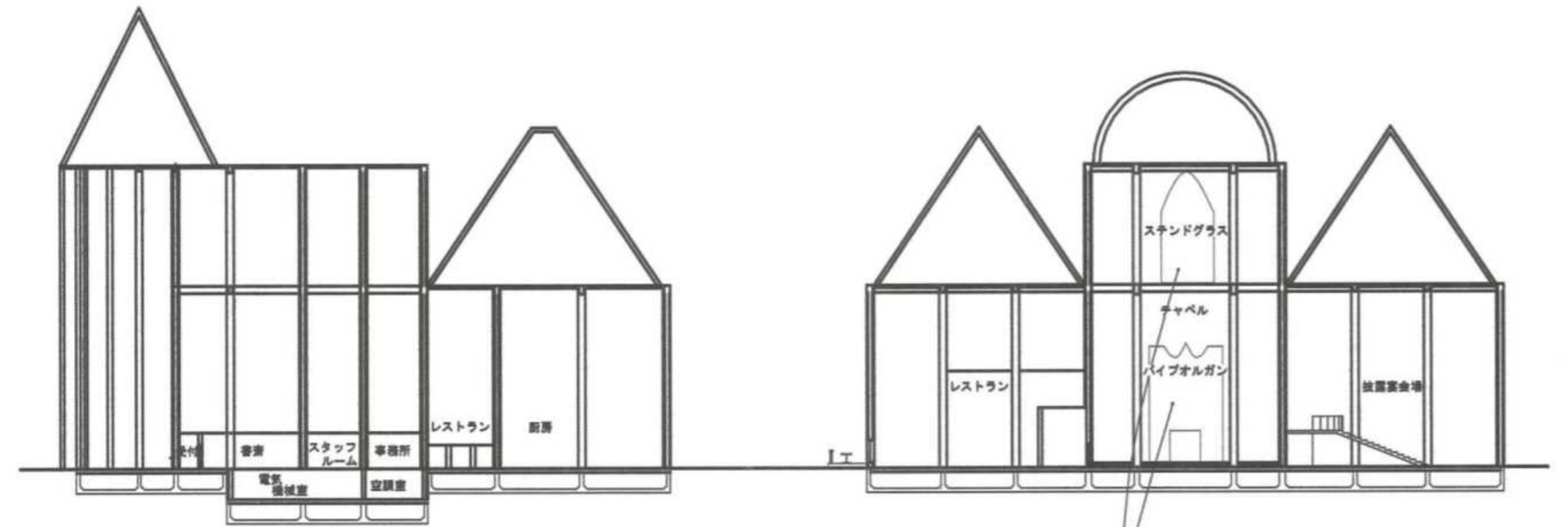
# 「ナムアミ大聖堂」



S=1:300 北側立面図

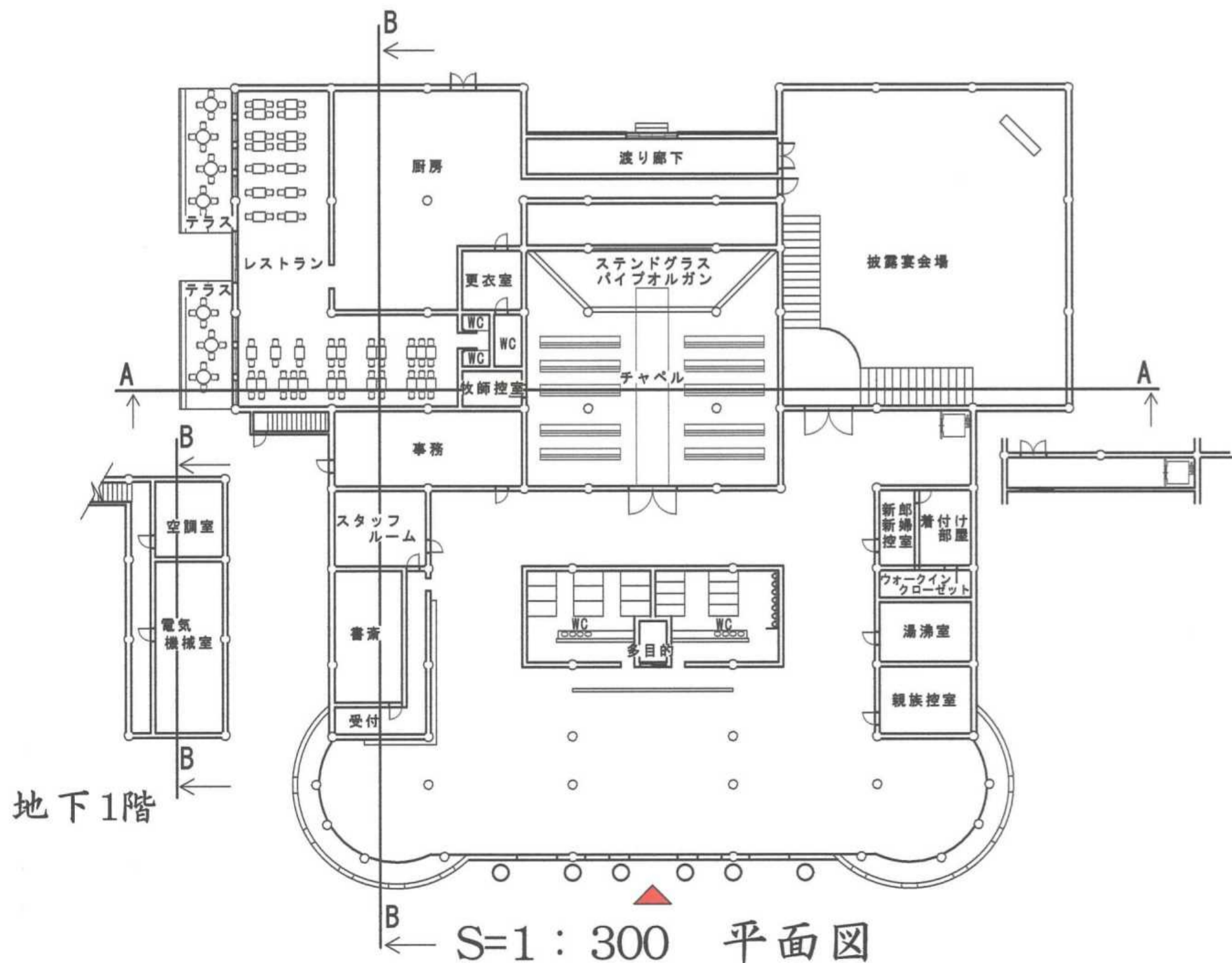
S=1:1000 立面図

この建物を見た時私は驚いた。この都市で最もきれいに残り、最も凝った建物だったからである。それだけこの建物は頑丈に繊細につくられていることだ。当時はここに人が毎日来て、礼拝していたと思われる。今ではその時の景色をなるべく保ったまま結婚式に使えるようになった。ぜひ、一世一代の結婚式をここで挙げてみてはいかがだろうか。



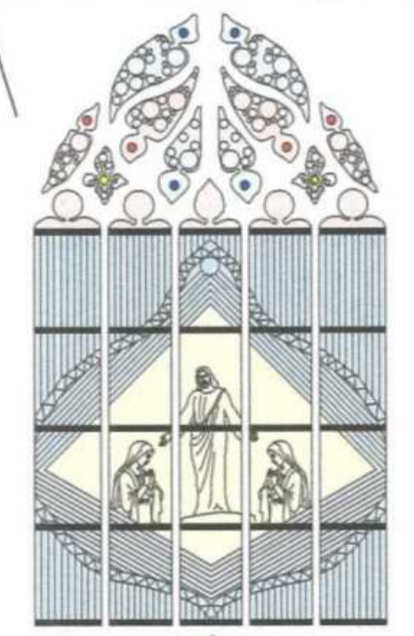
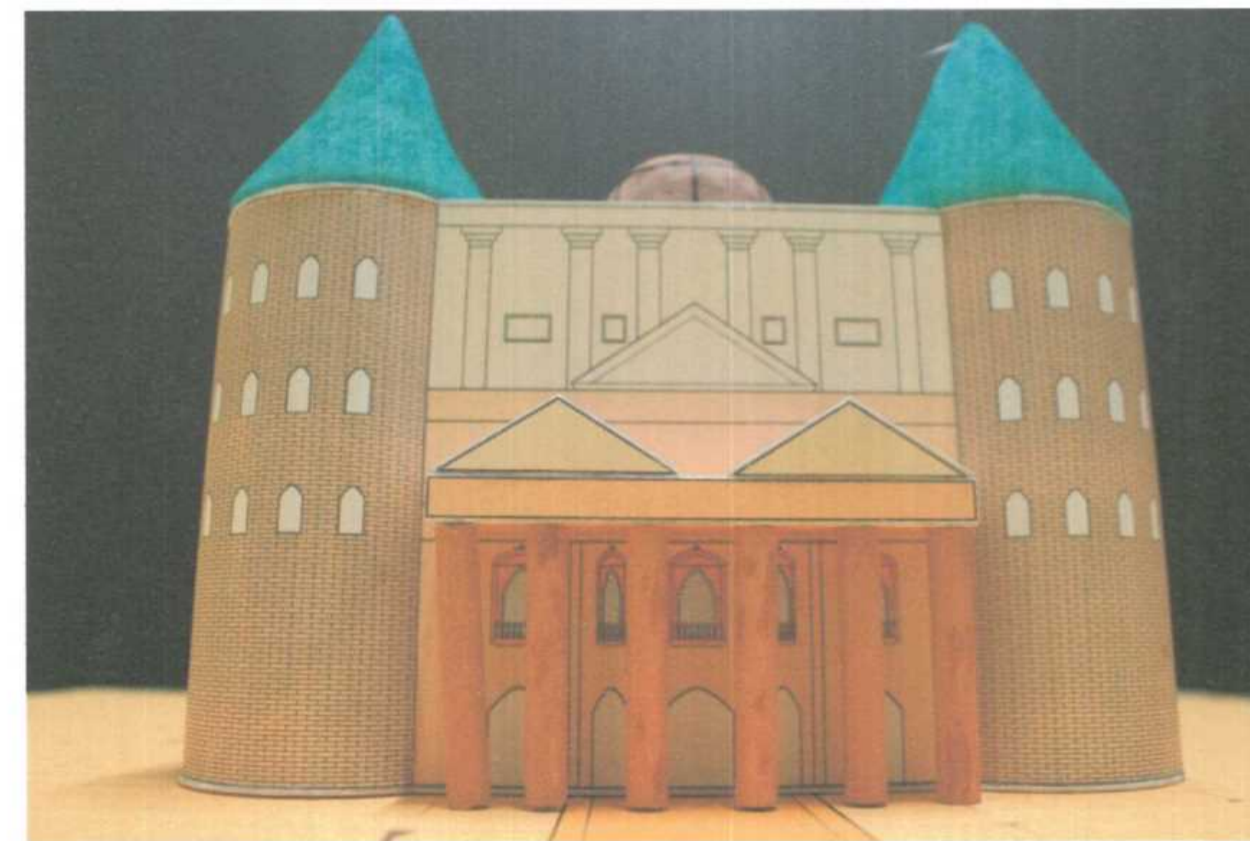
S=1:500 B-B 断面図

S=1:500 A-A 断面図

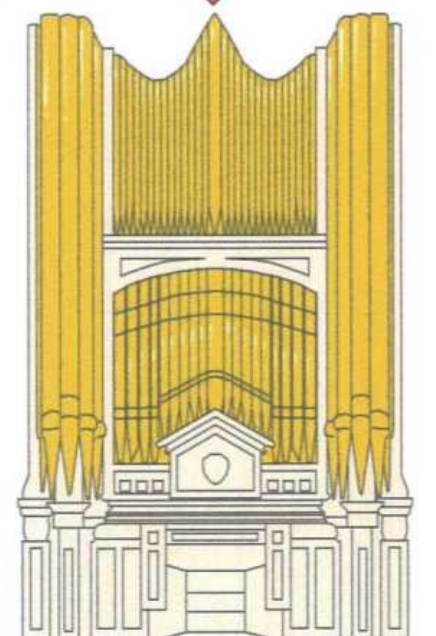


地下1階

S=1:300 平面図



スケッチ

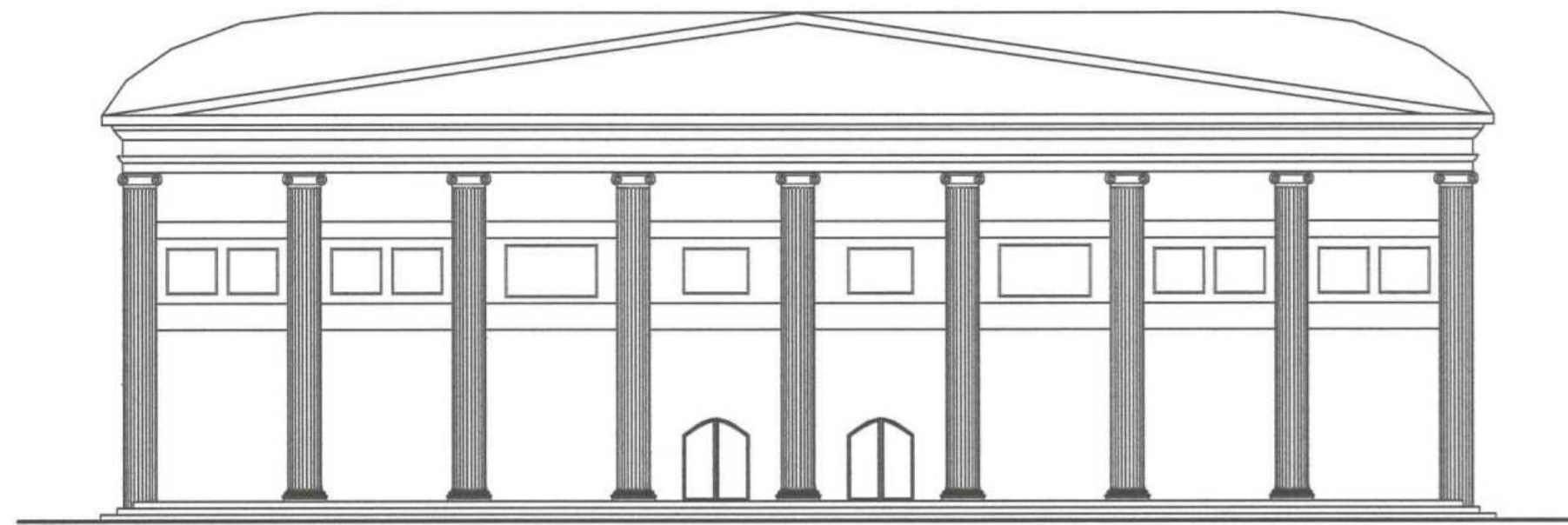


床面積	189.88㎡	敷地面積	18180㎡
建築面積	189.88㎡	建ぺい率	1%
延べ面積	189.88㎡	容積率	1%

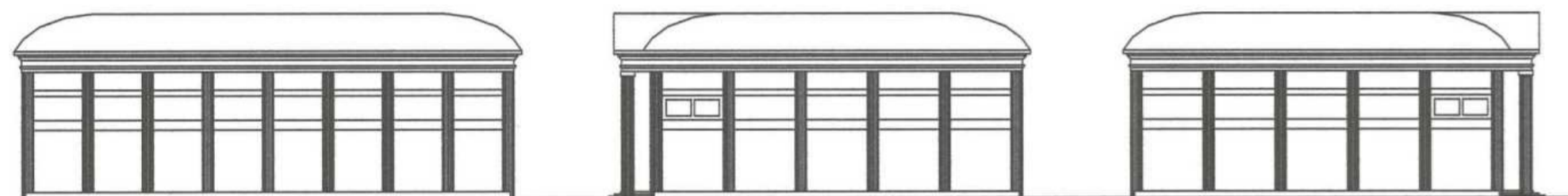
面積表

絵：西谷隊員

# 公衆浴場 「オトコマエ・ロマエ」



S = 1 : 200 北側立面図



S = 1 : 500 南 西 東側立面図



名前どおり飲み屋街のようにになっている酒場通りにある最も栄えた酒場。発見した文献にはここに行けばこの都市の情報が全て分つたと書いてありそれほどまでに愛された場所だったのだろう。

酒場「Bar party」



国道-1号線 (マイナスイチ)

国道1号線はもう存在するためマイナスと付けられた蘇我町にある国道。ここは絶好の観光スポットである。そのため様々なお土産屋や飲食店が点在している。また、この線はどこに繋がっているかまだ分っていない。

~~~~~  
 これでも全てを調査しきれたわけではない。たとえばこの都市のエネルギーがどうまかなわれていたかなど謎は深まるばかりだ。そのあたりを含め調査が完璧に終わるのはまだまだ先になりそうだ。またこの都市はこれから愛媛の新しい町「蘇我町」となる。そのためにも町の景観は変えず現代人が活用できるように、聖堂を結婚式場に、闘技場(?)をホテルになど変化させていく。これによりこの町は、日本で唯一無二の愛される町になっていくだろう。  
 これにて調査報告を終わる。

~~~~~